

令和5年度 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ（1年）	必修・選択	単位数	2
教科書・副教材等	新 高校の数学Ⅰ（数研出版）					
学習の到達目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。					
評価の観点	a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現		c. 主体的に取り組む態度		
	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	物事を多面的にみる力、目的に応じて適切に変形する力、図、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、適切な手法を選択する判断力、問題を解決する力、考察した過程や結果を論理的に考察し表現する力を養う。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の方法	上記3つの観点について、授業への出席状況、授業中の学習態度、課題への取組状況、定期考査、ルーブリック自己評価表などから、総合的に評価を行う。					
	単元		主な学習内容			
前期	第1章 数と式 第1節 数と式の計算 ・計算の基本 ・単項式と多項式 ・多項式の加法、減法、乗法 ・因数分解 ・展開因数分解の工夫 ・根号を含む式の計算 ・実数 第2節 1次不等式 ・1次方程式 ・不等式 ・不等式の解		・式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におきかえたりするなどして、既に学習した計算の方法と関連付けて、処理する力を養う。 ・中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。また、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。			
後期	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ ・関数 ・1次関数のグラフ ・2次関数のグラフ 第2節 2次関数の値の変化 ・2次関数の最大値・最小値 ・グラフと2次方程式 ・グラフと2次不等式		・2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 ・2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。次に、2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。			